

国立大学法人滋賀医科大学看護学専攻学位論文（博士）審査実施要項

令和8年3月25日制定

この要項は、国立大学法人滋賀医科大学学位規程第20条の規定に基づき、看護学の博士の学位（以下「学位」という。）に係る学位論文（以下「博士論文」という。）審査の実施について必要な事項を定める。

第1 博士論文審査の出願

1 出願者の資格

博士論文審査を願い出ることができる者は、次に掲げる各号の事項に該当する者とする。

- (1) 滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程に2年以上在学していること。
- (2) 所定の単位を修得したこと又は博士論文を提出する日の属する学期末までに所定の単位を修得する見込みであること。
- (3) 博士論文作成に必要な研究指導を受けたこと。
- (4) 研究基礎力試験（QE：Qualifying Examination）に合格していること。

2 出願の時期

博士論文審査の出願は、所定の期日までとする。

3 出願のための提出書類

博士論文審査を願い出る者は、次に掲げる各号の書類を指導教員の承認を得た上、学務課に提出する。

- (1) 博士論文審査願（別紙様式1）
- (2) 論文目録（別紙様式2）
- (3) 博士論文
- (4) 論文内容要旨（別紙様式3，3の2）
- (5) 博士論文の利益相反申告書（別紙様式7）
- (6) 参考論文がある場合は当該論文
- (7) 博士論文が共著論文である場合は承諾書（別紙様式4）
- (8) 博士論文が共著論文である場合は自己の担当部分についての報告書
- (9) 博士論文が未公表の場合は掲載予定証明書
- (10) 履歴書（別紙様式5）
- (11) 倫理審査委員会で協議された場合は倫理審査委員会審査結果通知書（写）
- (12) 動物実験委員会で協議された場合は動物実験承認書（写）
- (13) 動物生命科学研究所倫理委員会で協議された場合は動物生命科学研究所審査結果通知書（写）
- (14) 遺伝子組換え実験安全委員会で協議された場合は遺伝子組換え実験計画の承認について（写）

- (15) その他必要がある場合は(11)から(14)に準ずる説明書

第2 博士論文

1 博士論文は、次の各号の条件を満たすものとする。

- (1) 査読のある学術誌に原則として原著論文で受理されていること。
- (2) 共著論文である場合、博士論文提出者が筆頭著者であること。
- (3) 共著論文である場合、博士論文提出者は、他の共著者から当該論文を博士論文として使用しても差し支えない旨の承諾及び他の共著者が当該論文を博士論文として使用しない旨の承諾を得ていること。
- (4) 共著論文である場合、博士論文提出者は、その研究において自ら担当した部分をまとめた和文による論文形式によって書かれた報告書を作成して、研究及び博士論文作成において中心的な役割を果たしたことを明確にすること。

2 博士論文の公表

- (1) 博士論文が英文である場合、インパクトファクターのある英文誌又は関連する和文学会誌に英文原稿を投稿し公表された論文とする。
- (2) 博士論文が和文である場合、日本学術会議協力学術研究団体である学会の学会誌に公表された論文とする。この場合において、関連する国際学会での英語による発表を条件とする。
- (3) 博士論文が未公表の場合、掲載予定証明書があれば、公表されたものとみなすことができる。

第3 審査

1 資格等審査

博士論文提出者の資格等審査は、次の各号に掲げる事項について、大学院委員会が行うものとする。

- ア 在学年数
- イ 単位修得状況
- ウ その他

2 博士論文の受理

学長は、大学院委員会の議を経た上で博士論文を受理する。

3 審査委員の選出及び条件

- (1) 大学院委員会は、3名以上の審査委員を選出する。
- (2) 審査委員のうち、1名を主査とし、残りを副査とする。
- (3) 主査及び副査1名は、博士論文提出者の主研究指導教員又は副研究指導教員でなく、看護学専攻博士後期課程において研究指導教員としての資格を有する教員とする。
- (4) 副査1名は博士論文提出者の主研究指導教員とする。
- (5) 滋賀医科大学大学院医学系研究科に所属し、関連する他分野の教員1名を必要に応じて加えることができるものとする。

4 研究発表会

審査委員会は、審査の過程において博士論文についての発表会を開催するものとする。

5 最終試験

審査委員会は、口頭発表と口頭試問による公開の最終試験を実施するものとする。

(1) 最終試験は、口頭発表と口頭試問による公開での実施とし、審査委員会が行うものとする。

(2) 研究発表会は、最終試験とあわせて実施することができるものとする。

6 博士論文審査等の結果の報告

審査委員会は、博士論文審査等の結果を、博士論文審査結果等報告書（別紙様式6）により、大学院委員会に報告するものとする。

7 決定通知

学長は、大学院委員会の議を経て学位授与の可否について決定し、その結果を本人及び指導教員に通知する。

第4 その他

この要項について、疑義が生じたときは、大学院委員会が決定する。

附 則

この要項は、令和8年3月25日から実施する。

別紙様式1 (看護学専攻用)

博 士 論 文 審 査 願

年 月 日

滋賀医科大学長 殿

医学系研究科看護学専攻博士後期課程

年度入学

氏 名

(署名)

滋賀医科大学学位規程第4条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて提出しますので審査をお願いします。

記

論 文 目 録

博 士 論 文

論文内容要旨

博士論文の利益相反申告書

履 歴 書

(備考)

1. 参考論文がある場合は、提出すること。
2. 博士論文が共著である場合は、共著者の承諾書及び自己の担当部分についての報告書を提出すること。
3. 博士論文が未公表の場合は、掲載予定証明書を提出すること。

指導教員承認欄	氏 名	印
---------	-----	---

別紙様式2

論文目録

※整理番号		(ふりがな) 氏名	
博士論文題目			
参考論文題目			

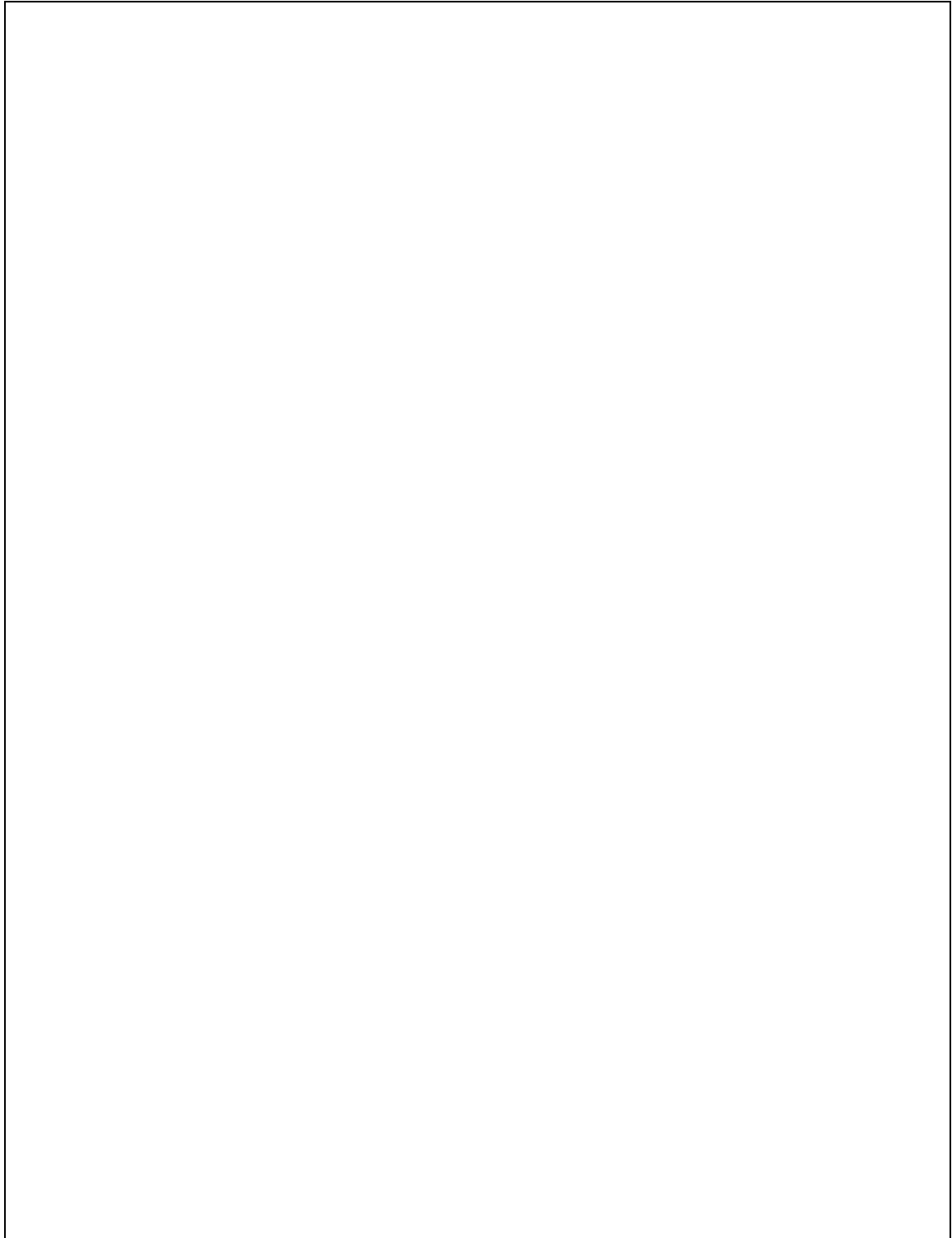
(備考) ※印の欄には記入しないこと。

別紙様式3

論文内容要旨

※整理番号		(ふりがな) 氏 名	
博士論文題目			

- (備考) 1. 論文内容要旨は、研究の目的・方法・結果・考察・結論の順に記載し、
2千字程度でタイプ等で印字すること。
2. ※印の欄には記入しないこと。

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is positioned below the header text and above the footer text. The interior of the box is completely blank, suggesting it is a placeholder for a drawing, diagram, or other content that is not present in this version of the document.

別紙様式4

承 諾 書

年 月 日

滋賀医科大学長 殿

(ふりがな)
氏 名
勤務先
現住所
電 話

印

下記の論文を (論文提出者) が貴大学院医学系研究科に博士論文として

提出することを承諾します。

なお、私は当該論文を博士論文として学位の授与の申請に使用いたしません。

記

論文題目

著 者 名

掲載誌名

巻・頁・年

別紙様式5

履 歴 書

※整理番号	本籍地	都・道・府・県
<p style="text-align: center;">男・女</p> <p>(ふりがな) 氏 名</p> <p style="text-align: right;">年 月 日生</p>		
現 住 所		
<p>学 歴</p> <p>研究歴</p> <p>職 歴</p> <p>免許・資格等</p> <p>賞 罰</p> <p style="text-align: center;">以上のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏 名 印</p>		

(備考) ※印の欄には記入しないこと。

博士論文審査結果等報告書

整理番号		氏 名	
論文審査委員	主 査		印
	副 査		印
	副 査		印
(博士論文審査の結果の要旨)			
	(判 定)	合 格 ・ 不 合 格	
(最終試験の結果の要旨)			
最終試験	(判 定)	合 格 ・ 不 合 格	

博士論文の利益相反申告書

滋賀医科大学長 殿

学位申請者氏名： _____

所属・大学院学年あるいは職名： _____

論文名（著者，題名，掲載誌名，巻，頁，年）： _____

博士論文に関連して，開示すべき利益相反関係にある企業などを項目ごとに記載する

項目	該当の状況	有の場合，企業名などの記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員，顧問職などの有無と報酬額（1つの企業・団体から年間50万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
② 株の保有と，その株式から得られる利益（1つの企業の1年間の利益が50万円以上，あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載）	(本人) 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬	(本人) 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体から，会議の出席（発表）に対し，研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料など（1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料（1つの企業・団体から年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（委託受託研究，共同研究）など（注）	(研究グループ) 有・無	

(1つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを記載)		
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄附金（奨励寄附金）などの有無（注） （1つの企業・団体から支払われた総額が年間50万円以上のものを5年前までさかのぼって記載）	(研究グループ) 有・無	

(注) ⑥, ⑦については, 学位申請者個人だけでなく, 学位申請者や共著者が所属する部局(講座, 分野)あるいは研究室なども含め, 研究成果の発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業や団体などからの研究経費, 奨学寄附金などの提供があった場合に申告する必要がある。

以下の項目については, 博士論文に関係なく, 記載する。

⑧ 企業に所属している者あるいは営利を目的とした団体が提供する寄附講座に所属している者 (所属先の企業, 寄附講座に所属している著者の名前と企業名を記載)	(著者全員) 有・無	
⑨ 研究とは無関係な旅行, 贈答品など (1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	

申告日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

所属(講座名・社会人入学者の場合は本務先の企業名も記載)

申告者署名 _____ 印

責任著者署名 _____ 印